

2021年度くわな幼稚園/認定こども園くわな_学校関係者評価シート

教育 目標	自然に親しみながら創造的に過ごすことのできる人間を育てる
----------	------------------------------

重点 目標	園児の活動に対する意欲を高めるために心情を受け止め、その延長線上の態度を育成する
----------	--

重点 課題	園児の創造性を高める活動の設定にあたり、各教員のさらなる創造性を発揮し得る職場環境を作る 園児の創造性を高めるとき、家庭を支える家族の理解と協力の在り方を精査し、進める。特に保護者のエゴと需要の違いを見極める 園児送迎時の安全を確保する一環として、スクールバスのより安全な運行をはかるための方策を練り、実施する
----------	---

凡例
4=◎
3=○
2=△
1=×
0=××

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
心情	保育者	指示ではなく理解を寄せる	3.00	文章だけではわかりにくいので、イメージが持てるような声掛けを心掛けた。	子どもたちが一斉に話し始める中で先生が1人1人の声に耳を傾ける努力をしてくれた。
		子どもの言葉にうなづく	3.50	目で見てうなづくようにしている。	
		子どもの言葉を聞き逃さない	3.50	同時に話し始めると聞き逃してしまうので、順番や挙手など工夫する。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
意欲	保育者	適切な教材などの環境を準備する	3.80	子どもの一歩先の行動を予測して環境を整えるようにしている。	・教えるという立場より子どもと同じ目線で楽しんでくれている。
		言葉を拾って広げる	4.00	言葉掛けがとても重要であることを理解し、日ごろからよりよい言葉を探している。	
		成果を喜ぶ	4.00	子どもと共に楽しみ喜んでいる。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
態度	保育者	動機の高まりを受け止める	4.00	やりたいことを聞くようにした。	・子どもたちの関心があることを題材に取り上げてくれる。 ・先生から任せってもらうことで、信じて貰えると感じて、自信につながっている。
		集中力の行方を見定め助長する	4.00	集中力がかけてきた場合には、声を掛けたり、途中で切り上げたり、次回にもち越したりするなど個々に合わせて対応している。	
		任せる	4.00	机を拭いたり、運んだり年齢に合わせた手伝いを任せるようにした。	

教員自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 保育の 計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	3.59	・学年会やミーティングを通して、職員と共通の認識をしている。	・担任の先生に限らず、学年、園、全体で園児を見てくれている。
	園の教育方針に共感している			
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている			
	園のねらいにそった保育をしている			
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる			
	幼稚園教育要領を理解していると思う	3.22	・ミーティングで“保育と質と指針・要領”の資料を使って教育要領とクラスの様子を照らし合わせて、職員で共有している。	・共有してくれているおかげでクラスのかたよりがなく学年全体で足並みがそろっている。
	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている			
	幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる			
	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえ園の教育理念・教育方針にしたがい編成している	3.43	・教育課程を年度末に確認を行い、必要に応じて見直しを行っている。	・コロナなど社会状況を考慮しながら、子どものためにできることをやろうとしてくれている。
	園の教育課程を理解していると思う			
	園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている			
	園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している			
	園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている			
	園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	3.25	・月案やカリキュラムなど臨機応変に対応できるように、一つのことに縛られず、様々な場面を想定して保育に臨んでいる。	・幼児の実態や周囲の状況の変化に合わせて、予定をこなすのではなく、臨機応変に対応してくれている。
	指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している			
	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している			
	長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している			
	短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている			
	指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している			
	幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している			
安全で清潔感のある環境構成をしている				
指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている				
幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている				
幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている				
遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している				

5	<p>楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている</p> <p>幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている</p> <p>幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している</p> <p>幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている</p> <p>教師の願いや意図をもって環境構成をしている</p> <p>幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている</p> <p>季節の変化に応じた環境構成をしている</p> <p>異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている</p>	3.32	<ul style="list-style-type: none"> ・製作物や子どもと話し合って決めることで、最後まで楽しく遊べるようにしている。 ・掲示物を通して子ども達からの気づきや言葉を活かし活動していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂場の用具が充実していて、楽しそうにあそんでいる。 ・畑もあり、作物の成長とともに幼児の活動がより豊かになっているように感じる。 ・季節感を感じられる製作物や装飾がほどこされている。
6	<p>自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている</p> <p>評価・反省は観点を定めて行っている</p> <p>自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている</p> <p>自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している</p> <p>互いに保育をみせあって、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている</p>	3.28	<ul style="list-style-type: none"> ・反省をして月案に残している。また、日々の保育は見せ合っていないが、反省などを学年会で話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちがお互いに認め合って意見を共有してくれているから、園児に統一した保育をしてくれている。
1	<p>朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確認している</p> <p>体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している</p> <p>けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行っている</p> <p>万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている</p> <p>園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している</p> <p>危険が予測される場合は、幼児達と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている</p> <p>クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている</p> <p>トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している</p>	3.69	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我や事故はミーティングで共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任でなくても、バスの先生からケガした時の状況など教えてもらってるから、共有されていると思う。
2	<p>一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている</p> <p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p> <p>幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動がある程度予想することが出来る</p> <p>個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる</p> <p>幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる</p>	3.51	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの性格や友達関係を理解して関わっている。 ・トラブルがあった時には両方の話を聞き、解決できるようにしている。 ・家庭の事情は理解しつつ、生活習慣で見直すことは伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トラブルがあった時も、見ただけをうのみにせず本人たちに意見を聞いたうえで、状況を把握してくれている。 ・家庭の生活状況に合わせて、気になることなど対応してくれている。

	<p>幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる</p> <p>幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている</p> <p>幼児の理解のために保護者と話し合うことがある</p> <p>幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している</p> <p>幼児の姿を多面的にとらえることができる</p>			
<p>II 保育のあり方、 幼児への対応</p>	<p>3</p> <p>幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたつてもものを見つめたりしている</p> <p>幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる</p> <p>一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている</p> <p>幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている</p> <p>「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている</p> <p>教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている</p> <p>幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている</p> <p>善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている</p> <p>幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている</p> <p>幼児とのスキンシップをとるようにしている</p> <p>幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている</p> <p>幼児の話をよく聞くようにしている</p> <p>幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している</p> <p>幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている</p> <p>幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている</p> <p>幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている</p> <p>禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている</p> <p>”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考えながらかかわっている</p> <p>幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている</p> <p>幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている</p>	<p>3.58</p>	<p>・「ら」抜き言葉、足を組まない、箸の持ち方等、手本となるように心がけている。</p> <p>・行動を急がせてしまうことがあるが、早めに次の行動を伝えたり、時間配分をしたりなど、なるべく余裕を持って過ごせるように心がけている。</p>	<p>・言葉づかいや食事に関して、家だけでは教えきれないことに対して熱心に取り組んでくれている。</p> <p>・幼児が自ら考えられるように答えを教えるのではなく、それにつながるヒントや導き出し方を教えてくれている。</p>
	<p>クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている</p> <p>クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している</p> <p>幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p>			

	<p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>4 「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようなさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちとかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	3.03	<p>・ミーティングで子どものことやアレルギー、バスの中でのことなど共有している。 ・考えてみようを使って導くようにしている。</p>	<p>・家でも異年齢の幼児の名前が出るがあるので、園で工夫をしてくれていると感じる。</p> <p>・「考えてみよう」などは楽しく学べる機会をもうけていただいている。</p> <p>・幼児によっては、家で学んだ内容が分からない事が多いので家でも引き続けられるように、行った内容をしっかりと把握できるといい。</p>
III 教師として	<p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする</p> <p>1 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</p> <p>保育にふさわしい服装を身に付けている</p> <p>自らの健康に、十分に気を配っている</p> <p>爪の管理をしている</p> <p>子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する</p> <p>担任する、子どもの性格を把握している</p> <p>職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている</p> <p>幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない</p> <p>園の重要書類を無許可で持ち出していない</p> <p>教材、教具の管理、点検に気を配っている</p> <p>クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している</p> <p>現金は管理せず、事務所に預けている</p> <p>締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている</p> <p>同僚や園の批判を軽はずみにしていない</p>	3.63	<p>・幼稚園教諭としての知識、技能を身につけられるように、本やネットで新しい情報を得たり、職員で情報交換をしている。</p>	<p>・コロナにより行事が減ったのでマイナスのイメージが強い。行事が減り園で過ごす時間が増えたのでその分どんな過ごし方をしたのか、もっと保護者に伝えて欲しいです。</p> <p>・どの先生も挨拶は気持ちよくしてくれてとても好感がもてます。</p> <p>・清掃や整理もして頂いていると思います。</p>

の 資 質 や 能 力 、 良 識 、 適 正	教職員全員でひとつのチームであることを意識している	3.64	・“報連相”を意識し、何かあればすぐに学年や全体に知らせている。	・学年の先生同士で連携がとれていると思います。 ・学年行事など成功しているので連携がとれている証拠だと思います。
	学年をまとめようと努力している			
	「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない			
	会議や打ち合わせは時間を厳守している			
	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる			
	自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している			
	会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている			
	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている			
	2 係の仕事は確実にこなしている			
	教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない			
	上司の指示、命令には責任を持って実行している			
	上司や先輩に対しては敬語を用いて話している			
	教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない			
	園のことを、みだりに、他へ話してしていない			
	主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える			
主任、もしくは上司を尊敬できる				
同僚の問いかけに無視することなく、答えている				
自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている				
3 幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである	3.81	・子どもとの遊びがより楽しくなるよう、考えたり、一緒に展開できる環境をつくっている。	・お迎えの時担任の先生に会うと普段の様子やささいな成長も伝えてくれて嬉しいです。先生方が分け隔てなく子どもたちと遊んでいる姿が好感を持てます。	
幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる				
幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる				
幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい				
特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる				
4 幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている	3.14	・自然や地域に興味、関心が持てるよう、散歩をしたり、遠足を通して知らせている。	・フラッシュカードを通して季節感を養っていると思うのでこれからも続けて下さい。	
幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある				
幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている				
自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている				
地域のことに関心がある				
クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりで知らせている				
欠席の場合は電話連絡をしている				
個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている				
保育参観や保護者会を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている				

IV 保護者への対応	1	<p>場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする</p> <p>いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている</p> <p>自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている</p> <p>「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている</p>	3.04	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの園での様子を伝え、共通理解を図るようにしている。また、不安な所や姿がある場合は、担任や園長も含め話をし、子供の成長を共に助長できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人の事をしっかりと見てくれているので安心しています。
	2	<p>保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている</p> <p>保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている</p> <p>保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている</p> <p>保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている</p>	3.61	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見はすべて受け止め、学年あるいは園全体で考え、答えを示すようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 要望に対して、はっきりとした答えが返ってこない。 コロナの対応が不透明 保護者に平等にすばやく納得できる情報がほしい。
	3	<p>保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている</p> <p>個々の子どもの情報は口外していない</p> <p>保護者、家庭の情報は口外していない</p>	3.87	<ul style="list-style-type: none"> 園以外で個人情報は口外していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 口外していないと思います。
	4	<p>「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない</p> <p>親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない</p> <p>電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心がけている</p> <p>保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない</p> <p>長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている</p> <p>園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている</p> <p>保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している</p>	3.46	<ul style="list-style-type: none"> バス、迎えなどでなかなか会う機会が少ない保護者には、電話をかけてコミュニケーションをとっている。 全園児平等に関わっている。 毎日元気よく笑顔で挨拶をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応していると思います。
	5	<p>保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している</p> <p>クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している</p>	3.44	<ul style="list-style-type: none"> 園長や主任も先生、経験のある先生に報告、相談している。 	
		<p>地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている</p> <p>地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している</p>		<ul style="list-style-type: none"> 朝帰りの出勤時や散歩に行く時には、 	

V 地域の自然や社会とのかかわり	1	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	2.82	常日頃から挨拶を心掛けている。	・心掛けています。
		地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている			
	2	小学校の教育内容について理解しようとしている	2.20	・卒園児の保護者や小学校の聞き取りなど情報を得るようにしている。	・兄弟がいる子に対しては卒園後も様子などを気にかけてくれている。
卒園した子どもの情報を得るように努めている					
3	地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている	2.31	・子育て支援やが必要な子どもには職員間で話し合ったり、子育てマップに載っている子ども総合相談センターや療育センターを活用している。また、トミーズクラブを開催して地域開放している。	・サコ先生の引退後のトミーズクラブはどうなるのでしょうか？	
	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している				
1	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	2.63	・キャリアアップ研修、挨拶研修、遊びの研修など、いろいろな情報や専門知識などを積極的に学ぶよう参加するようにしている。	・カルタ ドッチボールなど子どもの向上心を引き出すような様々な遊びを取り入れてくれました。 ・公開保育でもフラッシュカードや地名(特産物)ジェスチャーゲームなどインスピレーションに働きかけるものや、グループで話し合っ結論を出す 協調性に重きを置いた内容でよく工夫がこらされていました。	
	研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている				
	研修会や研究会では活発に発言している				
	専門書や専門雑誌を読んでいる				
	研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている				
	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている				
	自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている				
他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している					
2	子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている	2.77	・学年会や主任会、ミーティングなどで保育の質と指針・要領について普段の保育の中から発表して研修している。	・教員同士で連携を取り合い指導計画を立てて取り組んでいることを感じます。 ・色々工夫して下さり子どもたちが楽しく生活できるよう取り組んでくださっていると思います。 ・発表会のエンドロールは保護者にとってもとても大切で。ぜひ またお願いします。	
	指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている				
	環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている				
	指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている				
	自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている				
	確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている				
	保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている				
自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている					
3	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている	3.04	・年度始めに保育者で遊具の点検表に従って点検したり、危険な遊び方や間違った使い方など話し合い共有している。また、普段も壊れていないか点検しながら掃除をしている。	・できていると思います。子どもにも声かけできていると思います。	
	園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している				
	園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている				
	園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている				
VI 研修と		園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている			

研究	4	園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている	2.64	・遊びで使えそうな花や季節を感じられる花、食育のための野菜などを研究して子供たちと育てるようにしている。	・季節を感じられる行事や取り組みをしてくれているのがわな幼稚園の良いところだと思います。 ・また大きなこいのぼりやひな祭り行事などコロナで無くなってきたものを少しずつ復活させて欲しいです。なくなった取り組みを伝えて欲しいです。
		園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている			
		園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている			
5		子どもを取り巻くさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている	2.79	・クレーム対応やアレルギー、の対応、子育て支援などキャリアアップ研修や学年会、ミーティングなどで学べる場をつくり、共有している。	・障害のある子に対して先生の手が取られると他の子の指導が進まないのので、支援の先生を増やして配置して欲しい。 ・年長のクラス分けを、学区を考えて編成して頂きたいです。 在園中だけでなく、その先のことも鑑みて頂きたいです。よろしくお願いします。
		さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている			
		クレームの対応についての勉強会をしている			
		アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している			
		障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している			
		預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している			
		チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している			
		幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している			
	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している				
6		趣味・人とのかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている	3.42	・ワークショップや講師を呼んでの研修会などに参加して、学んだことを普段の保育に取り入れられるようにしている。また、普段からミーティングや学年会で意見を伝えるよう心がけている。	
		保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある			
		尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている			
		いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている			

運転スタッフ自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
I 計画性	1	3.28	・日初にエンジンオイル及び冷却水の点検を行っている。 ・先生方のサポートに徹し、言葉掛けは挨拶や相づち程度にとどめているが、教育理念や方針についての詳細を再確認すべきと考える。	・良いと思います。	
					園の教育理念や教育方針を理解している
					園のねらいにそった対応をしている
					幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している 仕業点検を実施している
3		3.00	・励行している。	・そう思います。 ・バス乗車以外でも気さくに子どもと話してくれます。	
					幼児に教育上不適切な言葉がけをしていない
					楽しい雰囲気の中で安定して過ごせる環境構成をサポートしている 幼児の活動がより豊かになるように、言葉を添えている

	4	自分の運転の評価・反省を自分自身で行っている	3.50	・行っている。	・良いと思います。
II 現場のあり方（対応と技術、運用）	1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている	3.29	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの車内の清掃は毎朝出発前に行っている。 ・走行中も車内を確認し、例えば窓側でウトウトしている園児がいれば、窓ガラスで頭を打たないように先生に進言している。 ・新型コロナウイルス感染対策の為、バスの換気には最新の注意を払った。 	・良いと思います。
		万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらするなど適切な処置をとるべく行動している、またはその心の準備がある			
		幼児にとっての危険の排除を意識して行っている			
		スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気をつけている			
	2	幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている	3.06	・励行している。	・特に問題ありません。
		幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしていない			
		善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている			
	3	幼児の話をよく聞くようにしている	3.02	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝子ども達に声を掛けをしてコミュニケーションをとり、楽しい通園になるように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気よく挨拶してくださり、子どもへの声かけをして下さったり、その日の様子を伝えて下さるスタッフの方もいて助かります。
		幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている			
		極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない			
		教師の援助に進んで取り組んでいる（行事における机、いす移動など）			
		教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない			
		幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない			
	4	幼児の気持ちを不必要にあおっていない	3.28	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停にバスを停車させるときは圧迫感を持たれないよう十分に減速し低スピードにて進入している。又、発進時にもアイドリング状態でゆっくり発車するのを励行している。 ・運転士会にてデジタコ評価をもとに各々の欠点を探り、幼稚園の看板に恥じない運行に努めている。 ・バス停位置、経路等、やむを得ない状況により一般ドライバーから意見をいただくこともあるが、安全第一を最優先に道路交通法と園内ルールの順守に努め運行している。 ・中央自動車との連携及び日常点検の完全実施が、本年度、人身事故及び路上故障皆無に寄与していると考えます。 ・コロナ禍であることから社内の清掃、消毒、換気等、衛生面には気を配り、外気エアコンも併用し、感染予防に最新の注意を払っている。 ・バスの運転には特に気を配り、子ども達の安全に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りのバスからお迎えに変わった場合（逆も然り）子どもにも一言伝えてもらうと乗り間違いなどが減ると思います。 ・運転手さんからバス乗車場所の提案をいただきとても助かりました。 ・安全運転して頂けると幸いです。 ・たまに信号に間に合わせるために急ぐのは見かけたことがあります。
		指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている			
バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している					
バス停の停車位置の変更に当たっては上司や担当教諭と相談している					
バス停に、バスが到着時、扉をあけるための「よし」を教諭に伝えている					
左折時の左巻き込みに、注意を払っている					
路肩走行をしていない					
雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している					
路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している					
住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している					
幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している					
幼稚園正門を出発時、担当者の出発合図を確認している					
幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している					
幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している					
年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している					
走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している					
渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している					
一日の終わりに、清掃を実施している					
一日の終わりに、外回りの点検を実施している					
ダイヤより安全を優先している					
スピード違反をしていない					

	黄色の信号で進んでいない				
	定刻に出発している				
Ⅲ 職員としての資質や能力、良識、適正	仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている	5	3.27	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バスの中を清掃し、窓ふきを行っている。 ・健康管理には十分注意している。不調であればすぐ病院に行き診察をしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくできていると思います。不満はありません。
	幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない				
	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている				
	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている				
	感謝の気持ちを言葉などで表わしている				
	園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている				
	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている				
	運転職としてにふさわしい服装を身に付けている				
	自らの健康に、十分に気を配っている				
	爪の管理をしている				
	保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている				
	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている				
	幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない				
	園の重要書類を無許可で持ち出していない				
備え付け用具の管理、点検に気を配っている					
バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している					
現金は管理せず、事務所に預けている					
6	教員と職員とが全員でひとつのチームであることを意識している	6	3.33	<ul style="list-style-type: none"> ・業務上知りえた情報や園の重要書類などの秘密厳守はもちろんのこと、水道光熱費・消耗品の節約等、経費節減にも努めている。 ・また、身だしなみにも気を配っているが、特に夏場など、着替えを要する時期の為に更衣室兼ロッカー一室の設置が望ましいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できていると思います。
	他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている				
	自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している				
	園内、車両内禁煙を励行している				
	教職員や園の批判をしていない				
	教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない				
	園のことを、みだりに、他へ話してしていない				
7	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる	7	3.17	<ul style="list-style-type: none"> ・できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喜んでくれていると感じます。
1	保護者との会話は「です」「ます」で行っている	1	3.08	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な挨拶に心掛け、密接でも疎遠でもなく、適度な距離を持って笑顔で接するよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に比べると職員室に先生が少ない。
	保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努める行事であることを理解している				
2	保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。	2	3.21	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たち保護者からは見えにくい部分なので評価しづらいです。
	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている				
	保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている				

IV 保護者への対応		保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている				
	3	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	3.56	・個人情報の漏洩禁止、教育の徹底を語る。	・分かりにくい部分ですが個人的には聞いたことはありません。	
		個々の子どもの情報は口外していない				
			保護者、家庭の情報は口外していない			
	4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	3.37	・ルーティーンとして各バス停では会釈をしている。	・特に気になる点はありません。	
朝、バス停に近づくごとに会釈している						
保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない						
自分の領域でない質問に無理に答えようとしていない						
		保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している				
5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している	3.17	・行っている。	・クレーム内容について等ひまわり委員が把握していない為 回答不可。駐車場では優先して頂けると思うが駐車して良い場所かどうか迷うことがある。		
	幼稚園駐車場では、保護者車両の通行優先を実行している					
V 地域とのかかわり	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	3.33	・通行させて頂いているという意識で送迎をしている。	・して頂いていると思います。	
	2	他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	3.44	・行っている。	・行っていると思います。	
VI 研修と研究	1	自らの運転のマナーや方法について、自問している	3.58	・一時停止の交差点では二段階停止を行っている。停止線のない交差点では最徐行を行い交差点では最徐行を行い確認をしている。	・安心しています。	
		速度の出しすぎに注意している				
		他の走行車両に迷惑にならないように配慮している				
		地元の生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている				
		発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている				
		バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している				
		停止線で停止している				
	バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない					
	2	教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない	3.60	・ハラスメントについては相手方によるものの比重が高く、アレルギー、障害者への対応も含めて勉強不足が否めない。	・議題にあがるハラスメントの内容を一部分でも知りたい。 ・アレルギーに対する知識を共有して子どもたちと話し合いたい。	
		教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない				
朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている						
		良識・常識・義務・マナーに留意している				
3	園の遊具や教材の使い方の危険性を理解している	3.00	・行っている。	・遊具下のマットなど敷いて頂いていると思います。		
4	アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている	2.25	・危機管理については、費用が掛かるので、理想と現実との乖離はまだ課題が残るところである。	・アレルギーに対しては、よく対処して頂いていると思います。 ・危機管理については目立って危険と感じる点はありません。 ・サポートが必要な子どもに対しては補助の先生を増やして頂きたい。		
	障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている					
	危機管理について、現状やあり方について研修・研究している					

行事を通して

ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
-----	-----	-------	---------

入園式	保育者	幼児が活動に参加することで、充実感を味わう事が出来るよう、幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	4.00	・緊張を和らげられるよう、視線・姿勢・笑顔でパペットを使用して温かく接する。 ・優しい言葉がけと受け止めに心掛けた。	・不安な子どもに対して優しく対応して頂けると 思います。
	幼児	温かい触れ合いの中で、存在感や充実感を味わう。	3.90	・保護者といすることで笑顔も多く見られ、手遊びやパペットにも興味を示し、親子で楽しむ様子が見られた。	・親子並んで参加できる入園式は子どもにとっても安心感があるので良いと思う。
	保護者	幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	3.60	・時間の関係もあり、個々で関われるのは限られていたが、丁寧に安心できるよう答えるようにした。 ・不安も多いと思うが温かな雰囲気づくりを大切にした。	・温かい雰囲気が伝わります。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
始業式	保育者	進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを意識し一緒に遊び、一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。		・コロナウィルス感染拡大予防のため、行わない。	
	幼児	新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。			
	保護者	新しいクラス、先生を知り、信頼関係の基盤作りをしていく。			

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
親子のつどい	保育者	・遊びを通して親子、友達、保護者間の関わりが深まるよう努める。 ・一人ひとりの幼児が、興味、欲求を十分に満足させられるよう環境を整え適切な援助を行う。		・コロナウィルス拡大感染の予防のため行わない。	
	幼児	・先生や友達、保護者と共に過ごす喜びを味わう。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め愛情や信頼感をもつ。			
	保護者	・子どもたちと一緒に遊ぶ中で、保護者間や幼稚園との情報買う冠の場にしてもらい信頼関係を深める。			

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
避難	保育者	・あわてず、安全を第一に子どもを非難させることが出来る。	3.80	・子供たちの安全を確保し避難させる事が出来た。 ・練習という事を伝え、子供たちが慌てず避難できるようにした。 ・出来た事は認めた。 ・事前に避難の方法を保育者同士で共有した。	

訓練 1学期	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することが出来る。・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することが出来る。・怖がらず階段を降りることが出来る。	3.90	・訓練する意味、大切さを理解できるように丁寧に話をした。・訓練で大きな音が鳴る事も伝えて、少しでも怖がらずに行動できるようにした。・先生の話や放送をよく聞いて怖がらずに避難する事が出来た。・命を守る方法が身につけられるように一緒に行動した。・誘導ロープを使いスムーズに避難できた。・「おはしも」を子供たちと話し、なぜそうするとダメなのか考える時間を作った。	・子どもたちから訓練の話を聞いたりしたので、体験が意味のあるものになっていると思います。
-----------	----	---	------	--	--

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保 6月	保育者	3.70	・子供たちが興味を示した活動を当日に出来るように、公開保育までの日数でいろいろな活動をした。 ・保育者自身も一緒に楽しむことで、子供たちもより楽しめるようにした。	・クラス毎にテーマを決めて子どもたちが興味をもつものに取り組んでいて、日常の延長を見ることができ良いと思います。
	幼児	3.80	・子供と出来るだけ一緒に考えたり、子供の言葉をひろってみたりすることで、子供が“やってみよう”と思えるように心がけた。・子供たちの興味がわくものを取り入れた。	
	保護者	3.80	・普段の子供たちの様子を掲示物や言葉で伝え、今後どのような保育をしていくのか伝え、安心してもらえるようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
プール遊 び	保育者	4.00	・子供たちが安全にプールに入ることが出来るように、大島さんに緊急時の対応について職員会で話をしてもらい、全員で把握した。(監視役の運転手さんも) ・人数確認、準備体操・約束事を徹底し子供たちと共に楽しんだ。	・安全に注意しながら楽しめていると思います。 ・コロナ禍の中 プール遊びをして頂きありがたかったと思います。
	幼児	3.70	・各学年のねらいに沿って、遊びの内容を考えより楽しくなるように進めた。 ・水が怖い子供も回数を重ねるごとに、怖さが薄れ挑戦する子供の姿が増えた。・楽しく一人ひとりが次のステップへ進めるよう援助した。	

ねらい		達成度	課題	評価委員の考察
お泊り保 育	保育者	3.90	・不安な子どもがいたら、一緒に過ごしたり「先生も、友達もいるから大丈夫だよ」など安心できる言葉掛けをした。 ・お泊り保育に期待を寄せられるように「この野菜はお泊り保育で食べよう」「布団をみんなで敷こうね」など日常生活で伝えるようにした。	・メインとなるイベントがない為子どもの中では幼稚園で寝ただけになってしまうので、自分たちでカレー作りを体験させてあげたかった。 ・お泊り保育の時間が短すぎて逆に親の負担になっています。布団の費用が高いと感じました。
	幼児	4.00	・みんなで協力して布団を敷いたり、身支度をしたり、泊まったりしたことを認めた。・掃除布団敷き、ゴミ集め、消毒など自分たちで出来ることは見守るようにした。	

	保護者	・子離れの経験をし、幼児の成長を喜ぶ。	4.00	・泣いていたり、様子が変わったりした場合は帰りや電話で伝えた。 ・不安がっていた子供やお母さんとは何度も話し合い、気持ちを受け止めた。泊まることが出来たという自信につながるということを伝え、当日快く送り出してもらえるよう伝えた。 ・動画やハイチーズなどで楽しんでいる様子を伝えるようにした。	へ。
--	-----	---------------------	------	---	----

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
新入園児面接	保育者	・個々の子どもを知る手立てとする。動き、言葉、視線など違和感、発達の違いを見つける。	3.80	・子ども一人ひとりと視線を合わせて、挨拶をしたり、話しかけたりと様子や行動を意識しながら進めた。	・面接官の先生方がいることや、初めての場所で子どもが緊張して泣いてしまい本来の姿を見ていただけたのか疑問が残るところがある。
	幼児	・幼稚園の雰囲気を感じる。遊びに参加することが出来る。	4.00	・園の雰囲気に緊張して固まってしまう子供もいたが、ボール遊びをすることで興味を持ってもらい参加することが出来た。	
	保護者	・園に信頼を寄せられる	3.80	・密にならないように一人ずつだった為、安心してきて頂けたと思う。笑顔で丁寧に対応したり、話しかけたりすることで不安を取り除き、信頼して頂けるよう配慮した。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
スポーツフェスタ	保育者	・皆で体を動かすことを楽しみ、達成感を持たせる。	4.00	・元気に体を動かせるよう、先生が手本となり大きく動いたり、イメージが持てるような言葉で伝えた。達成感を達成感を感じられるよう動きを子どもと決めたり、頑張りや成長を伝え自信が持てるようにした	・雨天時の延期の日程の組み方を再検討してほしい。(今のパターンだと一週間ほど仕事を休む必要がありかなり困る) ・コロナ禍の分散での運動会はとても良いです。ただ親は楽ですが子どもの気持ちを考えると家族みんなでお弁当を囲むという体験もかけがえないものだと思います。 ・スポーツフェスタの駐車場に関して。徒歩で移動している方が多く見られました。今後も園でスポーツフェスタをする時は地域の方に迷惑をかけない為にバス移動のみにした方が気持ちよく出来ると思います。
	幼児	・体を動かすことの嬉しさや楽しさを味わう。	4.00	・友達と一緒にしたり、保育者が楽しく身体を動かしていくことで、楽しんで参加できる子どもが増えた。 ・実際に育てているものを題材にし、気づきが深まるようにした。体をどう動かすとよりよくなるか子ども達と話し合いをしたり、見せ合ったりできるような環境を整えた。年長は少し難しいのを入れる事で目標や意欲につながった。	
	保護者	・集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	3.80	・子どもの頑張っている姿や楽しんでいる様子をおたよりや掲示物を通して伝えた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
	保育者	・幼児が自らその環境にかかわることにより、様々な活動を展開しつつ、必要な体験を得られるよう援助する。 ・幼児の活動する姿や発想を大切に、環境が適切なものとなるよう準備する。	3.90	・時間をかけて考えたり話し合ったり練習する場を設け、子どもが思う存分意見を出し合えるようにした。困っている様子があれば、一言アドバイスをし気付きを与えるようにした。	・子どもが先生に代わり絵本を読んだり体操の目まぐるしい動きを練習する場面が多かった。

公開保育 2月	幼児	・友達と積極的に関わり一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	3.90	・子どもがイメージしやすい物や言葉掛けをし、身体を使って表現することを楽しめるような活動を取り入れた。今まで意見を言うような様子がなかった子どもも手を挙げたり、意見を言ったりリーダーをやってみようとしたりする姿があり、その姿を認めながら更に良いところを見つけ	<p>兄弟をしたり いつもと違つに試みか兄弟れしよかつたです。(愛組)</p> <p>・流れがあり、やりたいことが保護者にも伝わりとても良かったです。(年少、年中)</p> <p>・わくはとても幼稚園が楽しいことが伝わって良かったです。</p>
	保護者	・情報交換の機会であることを踏まえ幼児教育に関する理解が深まるよう活動内容を伝えていく。	3.60	・幼児観を使いクラスの様子を伝えた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
交通安全指導	保育者	・交通ルールを知り、守ろうとする気持ちを持つことができる。 ・おまわりさんの話を聞くことができる。	3.94	・緊張感を持って参加する。	<p>・交通安全指導により、子どもが横断歩道で率先して手を挙げて渉るようになり、交通ルールが身近になった様に感じる。</p>
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり安全に気をつけて行動する。	3.94	・交通ルールを知り、守ろうとする気持ちを持つことができる。 ・おまわりさんの話を聞くことができる。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
避難訓練 2学期	保育者	・慌てず、安全を第一に子どもを非難させることができる。	3.91	・指導案を事前によく読みすべきことや子供に伝えることをしっかり把握しておいた。避難場所まで歩き始めるのに「わくわく→年少→年中→年長」から行ったが、本当に起きた場合はわくわくから行くみんな逃げ遅れてしまうので再度指導案の見直しが必要である。	<p>・南海トラフ地震などの懸念されているので、引取り訓練やより詳細なマニュアルを設定 提示をしてほしい。</p>
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 ・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。 ・怖がらず階段を降りることができる。	4.00	・落ち着いて確実に理解しながら訓練ができるように話をしてから臨んだ。また、隣のクラスとも連携をとり、トイレ内の確認、廊下の確認なども行い訓練にあたった。十分子供と話をして理解できるように進めた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
クリスマス会	保育者	・クリスマスの楽しい雰囲気を作り、夢をもたせる。	3.90	・クリスマス会を迎えるにあたって、部屋で絵本を読んだり、リース、ツリー、手紙、ケーキなどを作り、気持ちが高まるようにした。また、会話の中でクリスマスを楽しむに出来るように心がけた。	<p>・クリスマスの給食が毎年美味しく楽しみにしている。</p> <p>・ケーキもいつもこっていて、とてもありがたいです。</p> <p>・先生のコスプレも最高です。</p>
	幼児	・絵本や物語などに親しみ、興味を持って想像する楽しさを味わう。	4.00	・部屋の飾り付けを作ったり、クリスマスモチーフを作ったり歌を歌ったりして雰囲気づくりをした。様々なクリスマスについての絵本を読むことで、サンタについて想像したり、友達と会話したり、楽しむことができた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察	
学習発表会	保育者	・幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動出来るようにする。 ・発表会をみんなで一緒にする達成感を体験させる。	3.70	・子どもの興味あるもの、遊び、姿から題材を選び、子ども達の意見や思いを聞き、取り入れながら、一緒に考えながら進めることで、より一層楽しく取り組めたように思う。	<p>・オープニングと愛組のエンドロールを復活させてほしい。特にエンドロールは親にとって大変重要です。</p> <p>・発表会前のひまわり会での打ち合わせをもう少し内容を詳しくしてほしい。動線とかよりもマスク配布時のマスク置場や配り方などの説明をしたほうが良い。</p> <p>・発表会の表現の内容が全体的にとっても良かったです。家で自主的に練習している姿が</p>
	幼児	・感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 ・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	3.90	・子ども達と一緒に考える、意見を聞くことで表現することに興味を持って取り組めた。一人ひとりを認めることも大切にした。他の子どもの表現、他のクラスの表現を見る事で意欲にも繋がった。良いこと、嬉しいこと、難しいこと、困った事など共有してみんなで作り上げている実感を持たせた。	

保護者に対するねらい	・一年の集大成として子どもの成長を目の当たりにすることで親の成長を助長する。	3.80	・練習の時の様子を伝えたり、おたよりで伝えたり、一人ひとりの子どものそれぞれの成長を感じられるようにした。 ・ありのままを伝え、また、盛り上げて(応援して)などの協力も得た。	たじろ。家で毎日エロい〜練習している女の子のうれ嬉しく思いました。
------------	--	------	--	-----------------------------------

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
お別れ会	保育者 もうすぐ年長児やクラスの友達とお別れということを知らせ、みんなで過ごす時間を楽しませる。	4.00	・クラスで過ごす時間があともう少しということを知らせ、みんなの好きなダンスで仲良く踊って参加できるようにした。お別れ会以外でもたくさん話したり、遊んだり教えてもらったり、たくさん関わることが出来るように声を掛けた。	・コロナ禍で制限がある中でやれる範囲でやっていただきありがとうございました。
	幼児 他の学年や他のクラスの友だちと体を動かすことを楽しむ。	4.00	・I組さんと楽しい思い出を作るという気持ちを持ち、楽しく参加できるように伝え、雰囲気作りもした。I組さん輪の中に入ることでもいつも以上に盛り上がった。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
卒園式	保育者 大切な時間を共に過ごし温かく送り出す。小学校生活へ興味、関心がもてるよう助長する。	4.00	・小学校は楽しい所だということを伝え、期待が持てるように努めた。	・午前中に1部 午後に2部を行う形にしてほしい。 (1部の方が帰る時間に追われたのがかわいそうに思ったので) ・内容は子ども一人一人が主役に見られる部分もあり、バランスよく短縮できていたと思う。
	幼児 長 限られた時間の中で、一つひとつの体験を大切に、共に楽しみ共感し合う。在 様々な関わりを通して年長児の卒園することを知り、親しみや畏敬の念を持つ。	3.90	・限られた時間の中で子どもたちと楽しい時間、思い出を作るようにした。	
	保護者 子どもと共に成長の区切りを知り卒園を喜ぶ。地域、家庭での新しい生活のリズムへ配慮する。	3.80	・園生活での成長を喜び合った。 ・感謝の気持ちを伝えた。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活動一学期	保育者 ・やりたいと意欲を持てるような声かけや援助を行う。	3.30	・子ども達の遊びに保育者も参加し、一緒に楽しむことで、遊びの発展につなげた。 ・遊びに迷っている子どもには、遊びを紹介したり、保育者が参加している遊びに誘ったりした。 ・ごっこ遊びでは、お店屋さんの想像がしやすいように、メニュー表を作った。役割が出来て、会話が成り立った。	・徐々にプールに入ることができて楽しそうだった。
	幼児 ・いろいろな遊びをやらうとする。	3.50	・片付けの際に、クラスにすぐに戻ってしまう子どもが多いた為、褒めたりお願いしたり子どもに任せすぎないようにした。 ・遊びが発展していくよう、子どもの言葉を取り上げたり、きっかけを作ったりするようにした。	

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
-----	--	-----	-------	---------

二、外の活動 三学期	保育者	(わく・年少)取り組めた姿勢を十分に認め見守りながら適切な援助を行う。 (年中・長)主体性を大切にし、自信につながるような言葉がけ、援助を行う。	3.90	身体を動かすことを楽しいと思えるよう、出来たことを認めたり、取り組んでいる姿勢を励ましたりした。年齢に合わせて、保育者が手本を見せて安心できるようにした。二学期三学期は鉄棒・うんてい・縄跳び・跳び箱などの器具に挑戦する子どもも増え、無理強いせず子どもたちに誘うような言葉をかけた。	<ul style="list-style-type: none"> ・体操の曲が数年同じ物が使われているのが気になる。 ・ドーナツ屋さんのスペースができたことで楽しそうに遊んでいる姿が見られて良かった。 ・寒い中でも先生が外で遊ぶ事を積極的に行ってくれてありがたかった。
	幼児	(わく・年少)自分の力で行動することの充実感を味わう。 (年中・年長)身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	3.90	自分で目標を作ったり、年長さんが取り組む姿を見て、1学期よりも器具に興味を持って取り組むことが出来た。子ども自身がやりたいと準備、片付けをしながら器具に取り組むことが出来た。自分で進めよう、身体を動かそうという意欲を認めた。やりたいことに自分たちで取り組めるよう何が必要かヒントを出した。	※お着換えに関して外部からの目線にもう少し配慮した方法でお願いしたい。(特に記事の時)写真やビデオに裸の子どもが映り込んでいることがあるため。

★次年度の評価委員会は全学年を混ぜたグループにしてほしいです。

